

東中学校学校運営協議会記録（第1回）

1. 日 時

令和7年5月2日（金） 午後4時00分から午後5時30分まで

2. 場 所

小金井市立東中学校 1階会議室

3. 出席者

古源委員・志波委員・松浦委員（地域コーディネーター）・久宗委員

高山委員・宮崎委員・丹澤委員・森委員

新井委員（校長）・伊東委員（副校長）・沖山教務主任（CSコーディネーター）

※欠席委員：伊藤委員

（金城生活指導主任兼第2学年主任・本山進路指導主任・土屋第1学年主任・
能川第3学年主任）

4. 傍聴者

0人

5. 会議記録

（1）委嘱状交付

新井校長より、各委員へ学校運営協議会委員委嘱状が交付された。

（2）自己紹介

各委員及び本校職員より、自己紹介が行われた。

（3）学校長あいさつ

新井校長より

今年度で、東中学校に着任して4年目となりました。CSは2年目になりましたが、今年度も心強いメンバーになりましたので、つながりを密にしながら地域と共にある学校を目指していきたい。よろしくお願いいたします。

（4）会長及び副会長の選出

新井校長より、小金井市学校運営協議会に関する規則第13条に基づき、委員の互選により会長及び副会長を選出したい旨提案があり、審議の結果、会長に古

源委員、副会長に松浦委員が選出された。

(5) 学校経営方針について

新井校長より、令和7年度学校経営方針についての説明（資料参照）

学校経営方針についての質疑

志波：デジタルシティズンシップとは？

校長：生徒に対してICTを規制するのではなく、危険性を理解させながら、日常的な使用をさせていこうという取組である。

志波：GIGAスクールとの関連は？

校長：おかげさまで、今年度は全校生徒に一人一台端末を普及させることができた。だからこそ、様々な場面での活用方法について、職員も生徒もICTの効果的な利用について考えていく必要があるかと思う。ICTが身近に、当たり前にある時代になったので、利用してよい機会を限定するのではなく、日常的に手元にあり、必要に応じて自由に活用するものとして進めていきたい。

志波：副籍交流とはどんなものか？

校長：小金井特別支援学校の生徒との交流である。学年通信のやりとりや各学年の学活の時間などを利用して交流会を行っている。

久宗：外国籍の生徒への日本語指導については？

副校長：東中学校に支援員はおりませんが、市内で専門的な支援員がおり、その方に巡回していただいて対応していただく。東中の現状では支援が必要な生徒はいない。

森：COSMOS教室ではどんな活動を？

校長：専門的な知識を有する巡回教員と、対人コミュニケーションを中心とした活動で支援を行っている。その他提出物の管理なども担当の教員と確認しながら進めている。

(6) 学校評価について

副校長より

昨年度は学校評価にご協力いただいた。また時期が来たら、ご協力いただきたくので、よろしくお願いいたします。

(7) 東中学校学校運営協議会リーフレットについて

副校長より、東中学校学校運営協議会リーフレットが完成し、今後、地域等へ配布する旨、報告があった。

(8) その他

副校長より、次のことについて説明。

- ・ 学校運営協議会委員の研修について
- ・ 令和7年度第62回運動会（5/24（土）8:40～）について

◎次回学校運営協議会（調整後連絡します）

以 上